



観光立国をめざして

大沼 北海道  
Onuma, HOKKAIDO



森町の広大な野菜畑「北の旬菜俱楽部」で出合った見事なアスパラガス。7月はメロン、8月からはとうもろこし、じゃがいも、9月には枝豆が旬を迎える

大沼国定公園のシンボル北海道駒ヶ岳。森町、鹿部町、七飯町にまたがる標高1,131mの活火山で6月1日から10月31日までは標高900m付近の馬の瀬まで登山が楽しめる。(森町のカフェ「ココテッセ」の窓から)

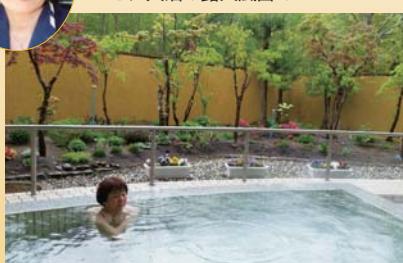
大沼の酪農地帯はいくつもの牧場が続くミルクロード。添加物を使用しない手作りのチーズやソフトクリームは絶品



ミシュランガイドブックにも掲載された人気の餃子店「おおね田」のご主人源泉かけ流しの温泉が点在。グリーンピア大沼の露天風呂で



2016年の春に開業した北海道新幹線は青函トンネルに入る時刻を知らせてくれる



文・撮影／大野尚子（旅行ジャーナリスト）『月刊アジア俱楽部』元編集長。NHK「関西ラジオワンド』のラジオ情報局を17年間担当。レギュラー出演中。日本旅のペンクラブ理事、日本ベトナム経済交流センター顧問、朝日カルチャーセンター講師。2010年よりソウル観光広報名譽記者。台湾埔里親善大使、韓国安東観光サボーラーズ、ベトナム家庭料理入門』（農文協）、『葉食のすすめ』（PHP）など共著書多数。イベント・コーディネーターとしても多忙。

とびきり豊かな大地の恵み  
広大な北の大地が「北海道」と命名されて今年2018年は150年の記念の年。青函トンネル開通30周年でもある。北海道が節目の年を迎えている。さらには2016年3月に北海道新幹線の新青森、新函館北斗間が開業し、関東や青森からの旅行者が急増。函館市観光部の調べによると函館を訪れた観光客は新幹線開業の前年に比べて開業後は約66万人増の約560万7000人に。

「旧英國総領事館も函館山ロープウェイも1・5倍増」と函館観光コンベンション協会の高松義彦さん。東京駅から「はやぶさ5号」で函館を目指した。所要時間は約4時間15分。全席指定の座席はゆったりで快適。青函トンネルに入る時刻を知らせる車内放送も流れた。トンネル走行は25分間。青函トンネルを抜けると「ようこそ北海道へ」のアナウンス。ワクワクさせてくれる。大沼国定公園など北海道駒ヶ岳山麓の町では源泉かけ流しの温泉や旬の野菜、極上の握り鮓、牧場手作りのチーズやソフトクリームなどとびきり豊かな大地の恵みが迎えてくれる。